



ネクストコモンズラボ 南相馬

活動報告

2021年度



ごあいさつ

Next Commons Lab 南相馬は、移住者を募り、
南相馬に拠点を移したメンバーとともに
地域の課題や資源に焦点をあてたプロジェクトを推進する、
南相馬市の事業です。
南相馬市民のみなさまのご支援・ご協力を賜り、
Next Commons Lab 南相馬事業も6年目を迎えました。

1年目の資源・課題のリサーチから事務局メンバーの募集・着任、
2年目からの起業家募集・着任、
起業に向けた各プロジェクトの推進や地域の方との交流など、
拙いながらも歩んできた道のりを振り返ると、
決して平坦ではなかったことが思い出されます。
壁や課題にぶつかる度、事業コンセプトである
「予測不能な未来を楽しもう」を大切にしつつ向き合ってきたことが少しずつ形となり、
市民のみなさまにもお伝えできることが増えてまいりました。

この冊子では、起業型地域おこし協力隊として移住した
メンバーが推進するプロジェクトの活動報告と、
今後の展望についてお伝えします。



CONTENTS

目次

ごあいさつ	2
目次	3
NCL南相馬とは	4
NCL南相馬の歩み	6
プロジェクト／ラボメンバー 事業紹介	
01 Horse Sharing 馬の社会価値を高める	8
02 Mobile Aromatherapy Salon 植物生まれのやわらかなアロマで こころとからだの波を均し ささやかな幸せを届ける	10
03 Local Marketer 販促・PRのチカラで、 南相馬の魅力的なヒト・モノ・コトを、地域内外へ届ける	12
04 Local System Engineer まちのIT屋さん	14
05 haccoba -Craft Sake Brewery- 酒づくりをもっと自由に	16
コーディネーター・小高ワークスベース	18
NCL南相馬 座談会	20
市民交流イベント	23

予測不能な未来を楽しもう

今、わたしたちは予測不能な未来に向かって生きている。

だからこそ、先の見えない不安よりも、

限りない可能性を楽しみ、想像力と実践をもって、

望ましい未来をつくっていきたい。

だれもがアイデアをカタチにし、挑戦できる場をつくる。

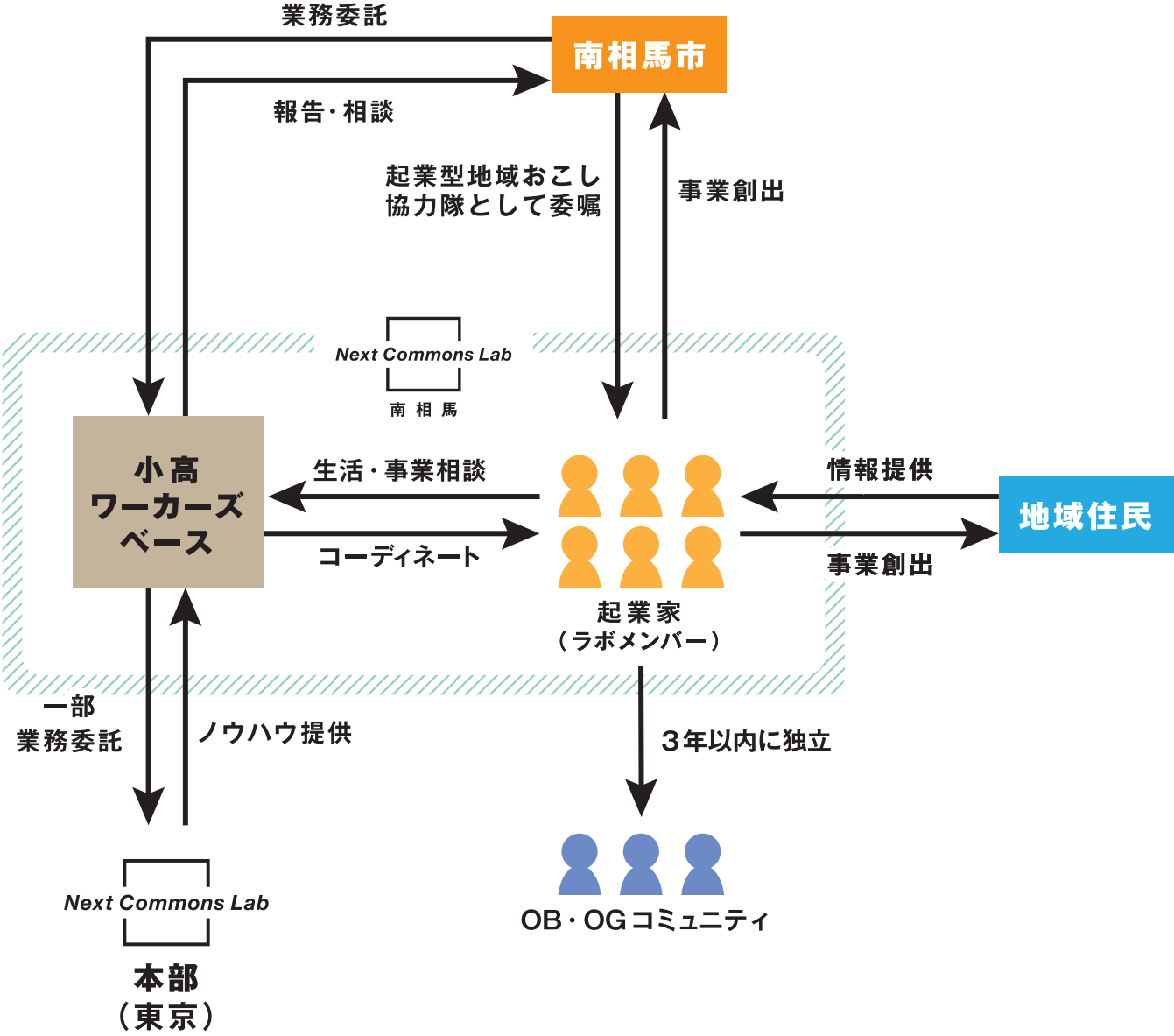
ひとつひとつの行動が次世代へと続き、新たな社会への道筋となっていく。

この予測不能な未来を楽しもう。

自分たちの手で未来を発明しよう。

Next Commons Lab 南相馬（以下 NCL 南相馬）とは、全国で地域おこし協力隊を活用したプロジェクトを推進している一般社団法人 Next Commons Lab と協働し、地域課題の解決や地域資源の活用を目指したプロジェクトを推進する、南相馬市の事業です。
具体的には、生産年齢人口の流出や空き家・空き地などの

増加といった地域の課題の解決と、商売が両立する持続可能な“なりわい”をつくることを目指しています。
プロジェクトを推進する起業家（ラボメンバー）と、起業家の活動を支援する事務局で構成され、全員南相馬に拠点を持って活動しています。



NCL南相馬についての疑問にお答えします！

Q1 「起業型地域おこし協力隊」と「地域おこし協力隊」の違いとは？

A1 「地域おこし協力隊」は、主に自治体が定めた特定の事業に取り組むことが多く、市の契約職員などになる場合が多数です。その反面、「起業型地域おこし協力隊」は、隊員が自由にやりたい事業に独立して取り組み、市から委嘱を受けて個人事業主として活動するケースが多くなります。

Q2 ラボメンバーやコーディネーターは3年間の任期满后、NCLとのかかわりはなくなるの？

A2 協力隊の任期終了後も、NCL南相馬の拠点である小高パイオニアヴィレッジを活用することにより、3年間培ってきたノウハウを生かしながら、他の協力隊のプロジェクト等との関わりを検討していきます。さらに、全国のNCLネットワークを活用し、他地域とのコラボプロジェクトを模索していきます。

Q3 小高ワーカーズベースとNCLってどういう関係なの？

A3 NCL南相馬事業を南相馬市から受託している企業が、株式会社小高ワーカーズベースです。NCL南相馬の事務局を運営しており、ワークスペースの提供や地域とのつながり、メンバーの伴走などを担っています。

Q4 NCL南相馬と他の地域のNCLの違いは？

A4 拠点ごとに運営方法は異なりますが、NCL南相馬は現地企業の株式会社小高ワーカーズベースが運営に協力している点が他拠点と大きく違います。コーディネートの範囲が広くなったり、地域とのつながりがより強固になるなど、目的を共有している現地企業と協力することで、できる支援の幅が広がります。

Q5 NCL南相馬は一体何をしているの？

A5 起業家の活動の支援を通して、地域の振興・発展に寄与します。具体的には、地域課題の解決や地域資源の活用にはフォーカスしたプロジェクトの設計、起業家の募集・採用、起業家の着任・活動・広報サポート、地域とのつながり、他企業との連携などが主な業務です。

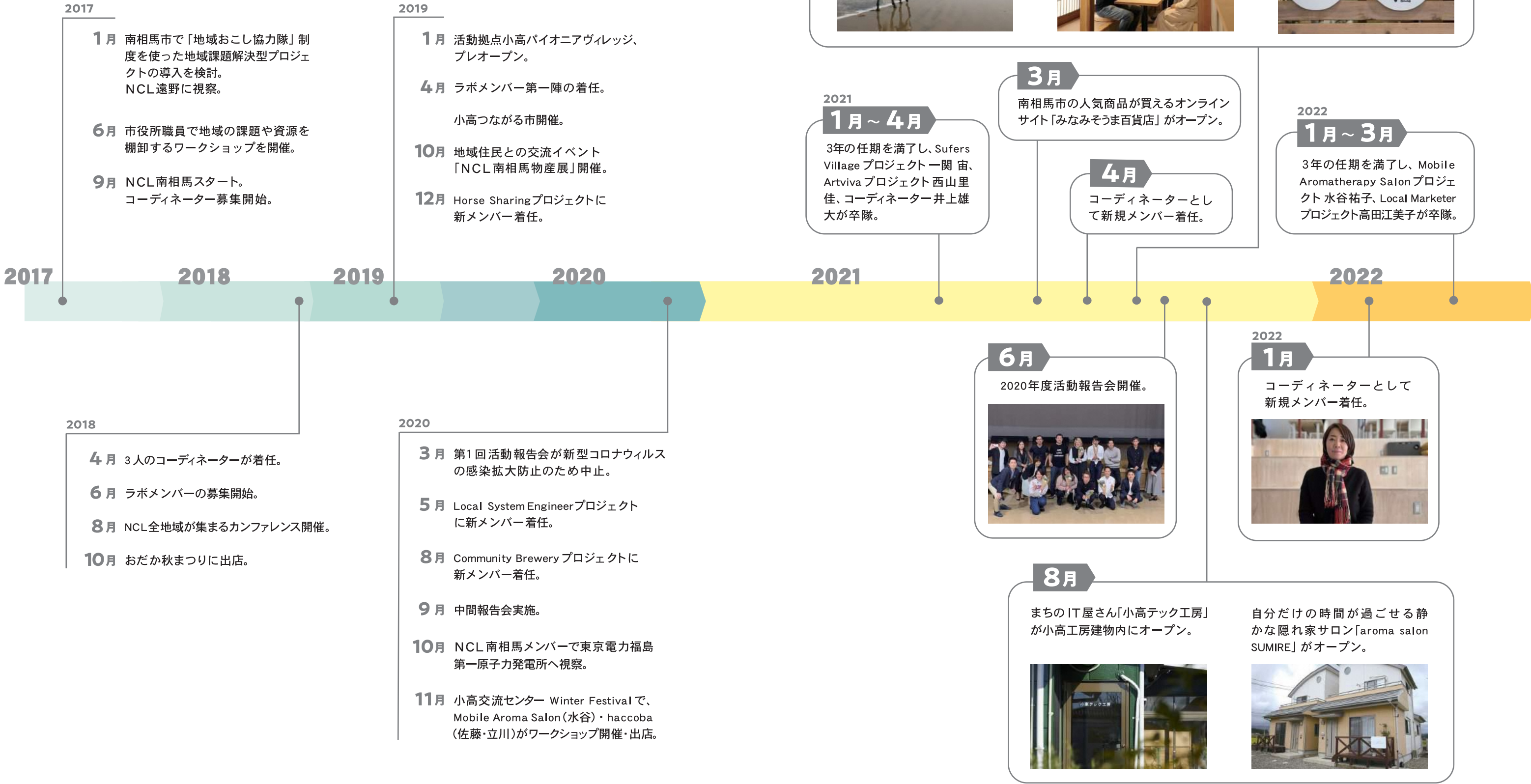
Q6 どういう基準で起業家の採用を決めているの？

A6 応募の段階で事業企画書を提出いただき、事業を通して実現したいビジョンが明確にあることや、具体性、起業家自身がそのプランを実現する必然性などを見て選考しています。面接では、「楽観的である」「関係者を巻き込める」「ビジョンを伝えられる」などの基準で、事業に臨む姿勢を見て採用の判断をしています。

History

NCL 南相馬の歩み

2017年にコーディネーターの募集を開始してから約4年間、事務局発足から、南相馬の資源活用や課題解決にフォーカスしたプロジェクトの提案、そして起業家の募集・着任に至るまで、様々な取り組みを地域内外で行ってきました。また、ラボメンバーそれぞれの活動が着実に実を結び、2021年度は多くの拠点やサービスが生まれました。本ページでは、NCL南相馬の歩みの一部をご紹介します。





Vision 目指すこと

馬の社会価値を高める

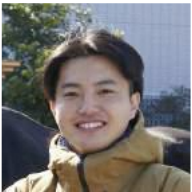
事業を通じて人と馬が身近になれる
馬のまちを作る

Message 代表メッセージ

私たち Horse Value のメンバーは障害馬術競技に携わってきました。その中で自分たちの競技がマイナースポーツであることに悔しさを感じておりました。どうすれば自分たちの競技がメジャーになるかを考えたところ「ビジネスとして成り立ってないから」だと気づき、馬と共に様々な事業を行い「馬の社会価値を高める」ということが馬術競技の発展に繋がると考えました。その第一歩として、馬が文化的に根付いている南相馬市で事業を展開していくことで、馬と人が身近になれるまちを実現し、「馬の社会価値を高める」ことに貢献していきたいです。

一般社団法人
Horse Value

代表理事
神 瑛一郎
じん・よういちろう



1995 年東京都生まれ。
小学校五年生から乗馬をはじめ、
障害馬術競技の道へ。全日本 Jr. 障害
優勝、国体出場、日韓馬術大会日本
代表などを経験。大学時代は関東
インカレ個人 2 位、W 杯予選 4 位
などの成績を収め、大学卒業後ド
イツへ渡り試合出場や若馬の調教
に従事。2019 年より NCL 南相馬
にジョイン。



馬を用いた観光事業

小高うまさんぽとトレッキングの
2 つがあります。
【小高うまさんぽ】
小高の街中を馬に乗って歩ける
サービスです。
【トレッキング】
海岸沿いや森の中を馬に乗って歩
けるサービスです。
どちらも乗馬未経験者の方でもお楽
しみ頂けます。



撮影への馬の貸し出し事業

南相馬市周辺でのテレビ CM、ドラマ、
動画撮影の際に馬を貸し出します。
スタッフが馬に乗って走る、演者の方
が乗る風景などお客様のご要望に
細かく対応することが可能です。



イベントへの
馬の貸し出し事業

お客様のご希望の場所まで馬を
運びます。
ホームパーティーや祝い事をする
際に乗馬体験や写真撮影、馬に触
れたりすることが可能です。



一般社団法人 HorseValue

【web】 <https://horsevalue.jp/>
【mail】 horse.value2020@gmail.com
【所在地】 福島県南相馬市小高区本町 1-87

お気軽に
ご覧ください！





Vision 目指すこと

植物生まれのやわらかなアロマで

こころとからだの波を均し

ささやかな幸せを届ける

アロマセラピーで気持ちや体調のバランスを整え、
心の中に小さな幸せをもたらします。

2021年夏 小高区内にアロマサロンを開業。

Message 店主メッセージ

アロマセラピー・・・「おしゃれな人の趣味」「匂い付きオイルのマッサージ」「実際は何なのかよく知らない」そんなイメージを持たれている人が多いかと思います。

アロマセラピーとは、植物から抽出した芳香物質(精油)を用いて心身の健康を保つ、自然療法の一種です。香りを嗅ぐ、精油を溶かした油を皮膚に塗るなどの方法があります。医療ではないため病気やケガの治療はできませんが、痛み・不眠など症状の緩和を期待し、海外や国内の一部医療現場においては補助的に活用されています。

私がアロマセラピーをおこなう時、必ずお客様のお話に耳を傾け好きな香りを使います。好ましい香りにより安心感が生まれ、ストレスや不安は和らぎ、心が満たされる感覚が生まれるからです。お客様の凝り固まった心と身体がほどけていく様子が毎度感動を覚えます。

店名のスマレは花言葉の「小さな幸せ」にちなんで名づけました。震災後ずっと抱えたままになった悲しみ、怒り、徒労感。感染症の拡大による不安。それらを和らげ、すこやかな気持ちで暮らしてほしい。そんな願いを込めてひとり一人にアロマで幸せを届けます。

aroma salon
SUMIRE

店主
水谷 祐子

みずたに・ゆうこ



東京都出身。大学卒業後、民間企業に就職。祖母の看取りに後悔しアロマセラピストを志す。資格取得後5年間老人ホーム訪問サービスに従事。2019年2月南相馬市地域おこし協力隊着任、2022年1月末で任期満了。英国IFA認定アロマセラピスト、介護アロマセラピスト。



セラピスト業

アロマトリートメント(マッサージ)のサロンを運営しております。1日3組限定の貸切サロンです。自分だけの時間をゆったりと過ごしていただき、心の底に溜まった澱(おり)を吐き出し、明日も頑張ろうと思える店づくりを心掛けております。ご高齢・ご家庭の事情で外出が難しい方にはご自宅等への訪問サービスもおこなっております。



講師業

アロマセラピー啓蒙を目的にアロマ入門講座やアロマ体験会を開催しております。参加者が実際に精油を扱うことでアロマに親しみをもち、精油の正しい利用法、ヘルスケアや暮らしに役立つことを学ぶ機会を提供しております。子どもから高齢者まで幅広く対応。生涯学習センター、職場、地域の集まりやイベント等にご利用いただいております。



アロマ関連商品の販売、
商品開発の協力

アロマセラピーを日常生活に取り入れられるよう、精油や関連グッズを専門業者から仕入れ販売。サロン店頭、小高区の「KIRA」にてお買い求めいただけます。また、精油で着香した商品の開発、香料の提供をおこなっております。お客様のご要望に応じて精油を調合いたします。天然精油の良さを活かした柔らかな香りが好評です。



aroma salon
SUMIRE

[web] <https://aromasalonsumire.square.site/>

[mail] outreach-sumire@memoad.jp

[tel] 080-7839-7029

[所在地] 福島県南相馬市小高区藤木 1-45-11 メゾン藤木 A 棟

サロンHP
ご予約承り中





Vision 目指すこと

販促・PRのチカラで、南相馬の魅力的な
ヒト・モノ・コトを、地域内外へ届ける

パンフレットなどの販促物制作、WEBやSNS、
取材・ライティング、ECサイトなど、様々な手法で
「想いを表現し届ける」お手伝いをしていきます。

Message 代表メッセージ

マーケティングやプロモーションを通じて、認知度の向上、更にその先の集客・売上のチカラになることを目指しています。
そうとうと漠然としてしまいますが、活動期間中携わらせていただいたお仕事は、パンフレットやチラシ・商品のポップやパッケージの制作、商品撮影、WEBサイト制作、SNS運用、取材・ライティング、イベントの企画運営サポートなど、多岐に渡ります。とすると、何でも屋さんですね(笑)。
お客様の「やりたい」「なりたい」に対し、様々な手段を用いて販促支援をし、実現に向けて伴走することを、事業化したいと考え、活動してきました。
南相馬には、魅力的なヒト・モノ・コトがいっぱいあります。それらを、まだ知らない誰かに知ってもらい繋げるお手伝いが出来たらと考え、それを実現するためのツールの一つとして、オンラインショップ「みなみそうま百貨店」の運営も昨年よりスタートしました。まだまだ道半ばですが、地域の素敵な商品たちを沢山集め販売していきたいです。
そして、物品の流通だけでなく人の行き来が活発な地域になることに、自分の事業が間接的にでも寄与していくことを目指します。

BACKSTAGE WORKS

代表
高田江美子
たかだ・えみこ



南相馬市出身。高校卒業後、仙台の大学へ進学し、大学卒業後に株式会社リクルートへ就職。仙台を拠点に旅行領域の営業職に従事。2009年に関連会社への転籍を機に、北海道へ移り、引き続き旅行領域の営業職や管理職を経験した後、ベンチャーのWEBコンサルティング会社を経て、2019年に南相馬市に十数年ぶりにUターンし、NCL南相馬へ参加。



「みなみそうま百貨店」の運営

六次化商品を中心とした、南相馬で作られている素敵な商品を集め、ネットで販売する、オンラインショップを運営しています。
サイトの管理、注文対応、商品の仕入れ・梱包・発送の一連の作業を実施しています。



みなみそうま
百貨店
ONLINE

PR・販促支援

WEB・SNSなどを活用し、地域の事業者さんや農家さんのPRや販売に対するお手伝いをします。

販促物制作

パンフレットやチラシなどの紙媒体や、パッケージやPOP、WEBサイトの制作などを通じ、想いを形にし発信するお手伝いをします。

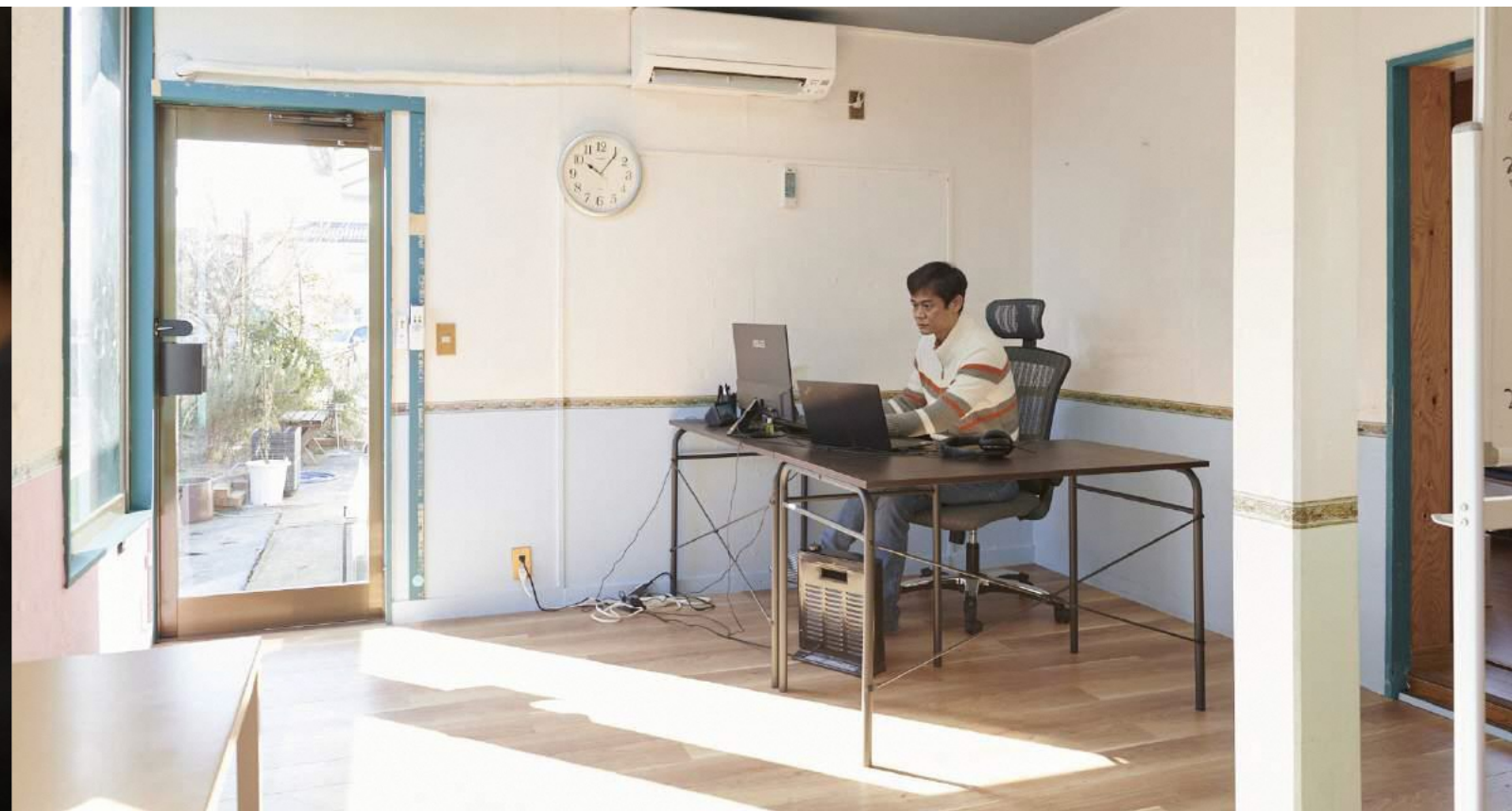


BACKSTAGE WORKS

[web] <https://minamisoma-dpet.stores.jp/>
[mail] e.takada09@gmail.com
[所在地] 南相馬市小高区本町 1-87

【みなみそうま百貨店】
オンラインショップ





Vision 目指すこと

まちのIT屋さん

テクノロジーをより身近に、手軽に利用する
お手伝いをしています。
また、そのような文化を地域に根付かせ、
ビジネスとして成立させる事を目指します。

Message 代表メッセージ

株式会社小高テック工房は「まちのIT屋さん」です。
ITを遠くの世界のことではなく、日常のすぐそばにあるようなものとして
身近に感じてもらいたいです。
「まちの八百屋さん」や「まちのパン屋さん」のように、いつでもふらっと
立ち寄っておしゃべりするだけでもいいような、そんなまちの日常を創る
ことを目指しています。
地域に根差し、必要とされる「まちのIT屋さん」となる事を通じて、地域
の課題を地域の力で、テクノロジーを活用することで解決していく風土を
創出していきます。

株式会社 小高テック工房

代表
塚本 真也
つかもと・しんや



1971年東京生まれ。
大学卒業後、東京のIT企業を経て
フリーランスのSE、スタートアップ
の取締役、青年海外協力隊（バ
ラガイ・ルワンダ）、中国・イン
ドネシアの海外勤務等を経験し、
2020年5月にNCL 南相馬メンバー
として南相馬市小高へ移住。



小高工房製品の ECサイト運用

小高で唐辛子製品の六次産業を営む
廣畑様と連携し、小高工房製品の
ECサイトによる販売代理を行って
います。特に新製品の柚子胡椒は
人気です。他にも大蛇マークの小
高ビーフカレーもとても美味しいで
す。ぜひお試しください。

▼オンラインストア
[https://odakachilli.
thebase.in/](https://odakachilli.thebase.in/)



シェアオフィス事業

小高を社会課題を解決できるITエン
ジニアが集まる街にしたいと思って
います。その為に東京等からITエ
ンジニア / 企業の誘致を進めていま
す。エンジニアの就業場所兼地元と
のコミュニティスペースとして、
シェアオフィス・コワーキングス
ペース・商談店舗を小高に構えてお
ります。



IT/DX コンサルティング

日本国内外の企業・団体に対する
IT/DX コンサルティングを通じて
様々なIT関連のお手伝いをし
ております。WEBサイト等の制作物
ありきではなく、顧客ニーズに
合わせた本当に必要なものを一
緒に考えて行きます。連携 IT
企業と合同でのIT/DX相談会等
も南相馬市で企画していきます。



株式会社 小高テック工房

[web] <https://odakatech.com/>
[mail] tsukamoto@odakatech.com
[所在地] 福島県南相馬市小高区本町 1-53

Webサイトは
こちら





Vision 目指すこと

酒づくりをもっと自由に

はっこうば
haccoba は、2021年2月に
福島の小高というまちで誕生した酒蔵です。
ジャンルの垣根を超えた自由な酒づくりで、
日本酒のフロンティアを切り拓いていきます。

Message 代表メッセージ

酒づくりをもっと自由に

かつて、日本では各家庭で多様な原料をつかった酒づくりを
楽しんでた時代がありました。ところが、明治時代に酒づくりが免許制とな
り、自由な酒づくりが難しくなっていました。
私たちは、かつての自由な酒づくりこそが発酵文化の源流であると捉え、
ジャンルを超えた酒づくりを追求することで、つくる楽しさを分かち合います。

クラフトビールのカルチャーで日本酒を捉え直す

haccobaのメインのお酒では、
日本酒の発酵過程でビールの原料ホップを加えています。
一見新しいつくり方にも見えますが、じつは東北の一部地域に
伝わるどぶろく製法「花酛(はなもと)」に基づいたものです。
そこを出発点として、現代のクラフトビールの醸造スタイルを取り入れた
多様な味わいをつくり出すことに挑戦しています。
かつてのどぶろくづくりにも通ずる、クラフトビールの自由な
カルチャーで日本酒を再編集し、今までにない体験をお届けします。

haccoba
-Craft Sake Brewery-

代表
佐藤太亮
さとう・たいすけ



1992年3月11日生まれ。楽天やWantedly
を経てhaccobaを設立。酒づくりの
修行先は、世界一美味しいと思っ
ている新潟の酒蔵「阿部酒造」。福島
浜通りで酒蔵を営みはじめたら、気
候変動の課題がいつしか自分ごとと
なり、電力事業も始めている。

醸造責任者
立川哲之
たちかわ・てつゆき



1993年12月26日生まれ。筑波大学
生命環境学群卒。学生時代に1万人
規模の日本酒イベント(食と酒 東北
祭り)を立ち上げ、新卒で入社した
株式会社ユークレナを2017年に退職
後、冬は宮城県名取市の佐々木酒造
店で酒を造り、夏は全国の酒蔵を旅
する生活をスタート。2020年8月から
醸造責任者としてhaccobaに参画。



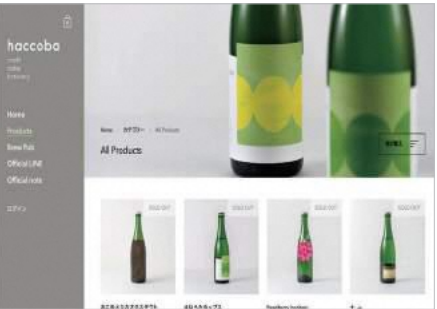
ブリュépabでの飲食提供

酒蔵に併設した飲食スペースで、
ガラス張りの酒蔵を見ながらお料
理やお酒を楽しんでいただけます。
haccobaのお酒はもちろん、日本酒
やクラフトビール、ナチュラルワイン
などもご用意しております。
また、シメの一品として女将特製の
スパイスカレーもおすすめです！
※事前予約制



店頭販売

haccoba定番のお酒「はなうたホッ
プス」や、様々なジャンルの方々
とのコラボレーションを通じて、
垣根を超えた酒づくりを実験して
いる「haccoba LAB__」など、この
小高の酒蔵でつくっているお酒
を、酒蔵店頭で販売しています。



オンラインストア

haccoba でつくっているお酒は、
オンラインストアでも販売して
います。全国にお届けが可能です
ので、遠くに住んでいるご家
族やご友人への贈り物に、小高
の地酒はいかがでしょう。

▼オンラインストア
<https://haccoba.com/>



haccoba
craft
sake
brewery

haccoba
-Craft Sake Brewery-

[web] <https://haccoba.com/>
[mail] support@haccoba.com
[所在地] 福島県南相馬市小高区田町 2-50-6

公式 LINEにて、
商品の先行案内など
お得な情報を
お届けします。





チャレンジする人たちが
最大限輝ける場所や環境をコーディネートし、
この場所の魅力を高める。

チャレンジをして輝く人が、
新たなチャレンジャーを呼び、
この場所の魅力が増していく。
そんな環境づくりができればと
考えています。



堀田 一徳

ほった・かずのり

京都生まれ京都市育ち。大学を卒業後楽天株式会社
に就職し、楽天モバイルに転出。2021年4月より
Next Commons Lab 南相馬へジョイン。Next
Commons Lab 南相馬の事務局でコーディネー
ターをしつつ、自身も起業の準備に奔走中。

Message

コーディネーターはラボメンバー（起業家）がそれぞれの事業を南相馬の地で形にしていけるサポートを業務としています。主な業務として一つ目に新規メンバー採用の募集や広報、説明会開催といった採用業務があります。南相馬で新たな風を吹かせる新規メンバーの募集を行っています。もう一つの主業務として、既存メンバーの活動広報を担当しています。メンバーの日々の活動内容をSNSでの発信、冊子にまとめて地域向けに発信などを行っています。南相馬のチャレンジングな風土やの魅力を発信し、多くの方にNCL南相馬の取り組みを知っていただけるよう日々活動しています。



神尾 早苗

かみお・さなえ

南相馬市鹿島区出身。大学卒業後、仙台でイラスト制作・デザイン業務・SNS配信・WEB運営等の業務に従事。震災後、南相馬市にUターンしNPOデザイナー、映像編集等の仕事に従事。2022年1月より小高ワークスペースコーディネーターとして勤務。

Message

今までの経験を生かし、広報活動等でお役に立てればと思いコーディネーターとして応募しました。なのでそれ以外の部分は一から勉強中です。かつて私は地元が好きではなく、戻りつもりもありませんでした。しかし震災によって、故郷の人や物がまるで危険なもののように扱われていることが許せませんでした。それから地元へ戻りまちの楽しさを見つけ、ここが普通に暮らせるまちであることをテーマにイラストなどの表現を通して情報発信などを始めました。それは自分自身がこのまちの魅力に気づく時間でした。これからはコーディネーターとして皆さんとともにこのまちの魅力を発信そして創造していきたいです。

地域の100の課題から100のビジネスを創出し、 自立した地域社会を実現する

地域課題の解決や資源を活かした
多様な事業を直接的・間接的に創出し続けることで、
持続的に暮せる地域をつくる



Next Commons Lab 南相馬（以下 NCL 南相馬）の事務局を受託運営しております（株）小高ワークスペースは、2014年5月、まだ避難指示区域であった小高区で創業しました。当時の小高区が直面していたのは、「緩やかな衰退に歯止めをかける」といった従来の課題ではなく、「住民ゼロの状態から暮らしを再構築する」という、それまでの日本には存在しなかった課題です。

そんな課題に対して、私たちが掲げたミッションは、『地域の100の課題から100のビジネスを創出する』でした。時限的な被災地支援だけに頼るのではなく、住民自らが課題を解決したり暮らしを支えたりする商売を再開、または生み出し、それが町を形づくっていくことが真の復興であると考えています。

小高駅前に小さなコワーキングスペース「小高ワークスペース」の開設を皮切りに、食堂「おだかのひるごはん」や仮設スーパー「東町エンガワ商店」（南相馬市委託事業）などを運営してきました。生活環境が整っても若者は帰ってこない、という声に対しては、ハンドメイドガラス工房「アトリエ iriser- イリゼ - （HARIO ランプワークファクトリー小高）」を開設し、地元の女性をガラス職人として育成・雇用しました。

しかし、多くの方々から応援・ご協力をいただいているとはいえ、自分たちだけで100の事業をつくるというのは、とても時間と労力が必要であるということは分かっていました。小高区で事業を興すチャレンジャーをどんどん増やしていこう。そう考え、南相馬市のご理解・

ご協力をいただいてスタートしたのがNCL 南相馬です。

NCL 南相馬は、地域おこし協力隊という制度を活用し、地域課題を解決する起業家を呼び込み事業を創出することを目的としています。2017年6月から採用を始め、これまで12人が着任しました。残念ながら途中で起業を断念したメンバーもありますが、3年間の任期を終えて卒業するメンバーが今年度で5名となりました。

見知らぬ土地に移住して起業する。支援があるとはいえ簡単なことではありません。そんなチャレンジに取り組んでいる起業家のみなさんは心から尊敬しますし、彼らの想いや事業をご理解いただき、応援してくださる地域のみなさまには心から感謝申し上げます。

今年度、弊社では「わたしたちは、自らの手で暮らしを確かなものにする」というパーパス（存在意義）を設定しました。そして、ゲストハウス併設型コワーキングスペース「小高パイオニアヴィレッジ」と、そこを拠点に2021年にスタートした20代以下を対象とした創業支援プログラムでは、福島の問題解決や価値創造に意欲のある130名以上の次世代が胎動を始めています。

彼らが共通して持っているのは「誰かが生み出した大きな何か」や「自分以外の誰か」に自らの暮らしを委ねるのではなく、手の届く範囲の暮らしを自らコントロールし、この予測不能な時代を乗りこなしていきたいという強い思いです。その手段のひとつとして「起業」を選択する若者が増え、それを地域が応援する。そんな未来を夢見て、これからも事業を生み出していきたいと思っています。



普段は各々の活動に取り組む NCL 南相馬の仲間が全員で集まり、オンラインで座談会を開催しました。本ページではその時の様子を取り上げ、メンバーの人となりも垣間見える内容となっておりますので是非ご覧ください。

今までの振り返り

和田 皆さん、お疲れ様です。今回は NCL メンバーの人となりみたいなお話をお伝えできるような座談会にしたいと思います。私自身、司会進行みたいなものは不慣れなので、何卒ご協力よろしくお願いします！まずは一人ずつ着任してから今まで一番印象に残ったことなどを挙げながら振り返ってもらえればと思いますが、誰から行こうかな…、目が合ったので神君から順番をお願いします（笑）

神 え、目合いました？（笑）振り返り…そうですね、大変なことやアクシデントもたくさんありますが、やりたいことや目標に少しずつ近づいているので、基本的には楽しいです。

立川 着任して 1 年ちょっとですが、酒造りや事業は順調にきているかなと思います。プライベートは、最初の 1 年間神君とひとつ屋根の下で暮らして…いつの間にか神君は忙しく早起きになり始めて生活リズムが合わなくなりましたが（笑）総じて事業もプライベートも充実したこれまでだったかなと思います。

塚本 僕も着任して 2 年弱が過ぎましたが、あっという間でした。着任当初は緊急事態制限真っ只中で大変でしたが、色んな人に支えられて今は徐々に前に進むことができています。地元の人との関わりも楽しいですね。毎日食べ物もらったり、逆にもらった野菜でぬか漬けをつくってあげたり。仕事に関しては、色々なところからご依頼頂いて、時間を有効に使えていると思います。

佐藤 着任してもうすぐ 3 年ですが…、色んな事がありましたね（笑）人や環境の変化もありますが、自分たちのプロジェクトも含めてみんなの事業がだんだん形になってきている感じはありますね。haccoba に関し

ては NCL 以外のメンバーも増えてきて、色んな仲間を巻き込んでやってこれたのは充実感があります。

高田 私はもうすぐ卒隊ですが、ほんとに早かったなと思います。色んなことをやらせてもらいましたが、最後の 1 年は本当に忙しかったです（笑）地域の方との関りが強かった事業はやはり一番記憶に残る事業かなと思います。地域との方との関係性は大事にしつつ、卒業してから引き続き頑張りたいと思います！

水谷 地域おこし協力隊として公的なサポートをいただける部分が大きかったからこそ、それだけの価値を出していかないといけないことに難しさは感じていました。そんな中で、色んな人に支えていただいて人のありがたみはすごく感じました。個人事業主といえ一人ではやっていけないですし、支えていただいた方には感謝しないといけないと思っています。

地域との関わり方

和田 高田さんは南相馬市出身ですが、その他の皆さんは移住されてきた中で、地域との関係性みたいなテーマで少しお話を聞きたいなと思います。横から見ていると、水谷さんは特に地域の色んな人と関わっておられる印象がありますが、「地域との関係性」について思う部分などあれば教えてください。

水谷 南相馬の人たちは親しみやすくよ者に対しても寛大で、困っていることに手を差し伸べてくれることが多かった。一方 3 年目になって、今までお客さん扱いだったところから、一南相馬の事業者として厳しいご意見を耳にする機会も増えました。

和田 確かに、我々も基本的にはいいイメージを発信しますし、逆に厳しい意見を頂く部分についても真摯に取り組んでいくことが必要かなと思いますね。そのあたり塚本さんも小高工房に入居してオフィスを構えることで、色んな地域の方と関わる機会があるかと思いますが、何かご意見頂いたりということはありましたか？

塚本 「NCL がどうだ」とかを直接何か言われたということは特にはないですね。こっちの人って最初はどこか取っ

付きにくいんだけど、壁を超えると親しくしてくれる。基本的に自分の周りにはそういう人が多いです。

和田 なるほど。haccoba も周りの大人たちから応援してもらっているなど見ていると思いますがいかがですか？

佐藤 ご意見いただくことも、助けていただくことも多いです。haccoba オープン前から小高四区の隣組に入らせていただいたことは大きかったのかなと思います。区長さんに色んな人を繋いでもらったり、気にかけてくださったり。しっかりコミュニケーションを取れている人たちからは応援してもらえますが、逆にコミュニケーションをあまり取れていない方からは「なんだあいつらは」みたいになることもあるのかもしれないですね。

立川 面倒見てくださっている方もたくさんいる一方で、僕らのことをあまり知らない人達に、誤った情報が噂として独り歩きしてしまったりということはありました。なのでこちら側の発信をもう少し工夫する必要があります。あったのかなという反省点もあります。

和田 その辺難しいですね。全員に理解してもらうことってなかなか難しいですが、やっぱりできるだけ多くの人に理解してほしいし。いくらこちらに落ち度がないと思っていたとしても、相手からすれば気に入らないということはどうしてもあります。起業ということを通じて地域との関係性を作っていくことは難しくもあり、逆にその壁を超えると得られるものも大きいんだろうとも思います。神君なんかは「馬」という伝統的なコミュニティで…、あれ？神君いなくなっちゃった（笑）

立川 さすが神君（笑）

和田 じゃあ先に高田さんにお話しお聞きますか（笑）高田さんは Uターンで、移住してきた皆さんと違った経験があるのかなと思いますけどどうでしょう。

高田 やっぱり地元なので、他の皆さんよりは地域への馴染みやすさはあったと思います。直接の知り合いではなくても、家族が知り合いだったり同じ学校の卒業生だったり。私自身を良く知らなくても、共通の何かがあることで親近感を持ってもらいやすかったのかなと感じています。一方で、活動中の 3 年間は、仕事の忙しさにかまけて、関わって頂ける方や地域の方々など色んな人と深いコミュニケーションを取る時間をもっと作ればよかったというのは、反省点ですね。自分の事業は南相馬市各地に行くことが多い中で、小高を出ると NCL 南相馬や南相馬市の地域おこし協力隊制度について知らない人も沢山いるという印象を受けましたね。起業型と一般的な協力隊の制度や私たちの活動を知ってもらうためにも、様々な場面や場所でのコミュニケーションは大切だなと思いました。

和田 鹿島区や原町区で NCL 南相馬のことがあまり知られていないというのもその通りかなと感じています。この場所で誰が何してようがそこまで関心がないというのはむしろ当たり前かなと、なのでこちらから無理やりぐいぐい情報を押し付けるのも違うかなと思います。と

はいえこの地域で皆さんが事業を持続的にやっていくために、この冊子のような形で徐々に認知を広げていくのは大事ですね。

和田 あ、神君おかえりなさい。

神 すいません、Wi-Fi が落ちてました（笑）

和田 神君のいる「馬」のコミュニティは、この地域特有かなと思いますがいかがですか？

神 僕の長所でも短所でもあります。あまり周りを気にしすぎない部分があります。コロナ禍でなかなかコミュニケーション取りづらい部分もあり、やっていることが認知されていないなど感じることもあります。逆にそこは伸び代だなと思っています。

メンバー同士の関係性

和田 この機会にぜひ聞いてみたかったのが、NCL のメンバーって水谷さん・塚本さん・高田さんの落ち着いた大人組と佐藤さん、立川さん、神さんの 20 代やんちゃ組でなんとなく分けられるのかなと思っているのですが、大人組からは 20 代やんちゃ組をどう見ているのか聞いてみたいです。塚本さんどうですか？

塚本 僕の 20 代のころは今の NCL の 20 代メンバーよりもっとやんちゃしてたので…

一同 （笑）

塚本 「もっとやっちゃいなよ！」と思いますね。自分の若い頃は周りに嫌われてでも自分ができていることを実績を積み上げて信頼を勝ち取るという風にやってきたので、みんなももっと遠慮せずに暴れたらいいんじゃないかなと感じております。

和田 なるほど、もっと暴れるということですね。それを受けて 20 代メンバーどなたか、いかがですか…（笑）

神 塚本さんとは個人的にも一緒に飲ませてもらうことが多いですが、歳を感じさせない若さがありますよね。イケイケドンドンなところもありつつ、経験値もありどっしりされていて、自分なんかは勢いでガーッとやっちゃうことが多いですが、周りにいろんな経験をしている人がいてくれることは頼もしいなと思います。

和田 ありがとうございます。高田さんは 20 代のやんちゃ坊主たちをどう見ていましたか？

高田 私の 20 代のころと比べると、まあなんてみんな立派なんだろうとしか思えないです（笑）この年代で「自分はこれでやっていくんだ」というのがあること自体すごいですよね。若いうちにやりたいことがハッキリある場合、そこにかけられる行動力やチャレンジ精神の熱量はすごいんだろうなと思うと、正直うらやましいですね。若い世代が目新しいことをしていることに対して、最初

はいぶかしげに思ったりする人たちもいるかもしれませんが、誠実に頑張っていれば、理解してくれて、力を貸して下さる人も増えてくると思うので、まずは、目指したこと・やりたいことに対し、まっすぐにやっていけばいいと思います。

和田 水谷さんのところには若いメンバーの行き届かない部分のお話が行ったりすることがあるかと思いますが、20代の子たちをどんな風に見てますか？

水谷 想像力だけはぜひ持ってもらいたいと思います。やりたいことをやるのはいいんですが、それをやることで周りの人にどれくらい影響があるのか。目先の影響だけではなくその先のことを思い巡らせてほしいですね。

和田 そうですね、行動を起こすとどこかの誰かに大なり小なり影響を与えることになりますし、迷惑をかけてしまうこと自分の事業にも跳ね返ってくるので、先を想像することは大事です。僕もよく怒られたので。

次の一年で取り組みたい事

和田 そろそろまとめていきたいなと思いますが、最後に次の一年で取り組みたい事なんかも聞いていきたいと思ひます。まずは佐藤さんからいかがでしょうか。

佐藤 無事酒蔵もできてちょっとずつ前に進み始めているところで、コロナの制限がもう少し少なくなって他のNCL南相馬メンバーと強固に協力して何かできればいいなと思っています。

高田 今年3月で卒隊となりますが、軸となる販促支援やそれに伴う販促物の制作・みなみそうま百貨店の事業を、次の一年でしっかり確立させ、自身の仕事の基盤を固めたいと思います。
仲間の存在は大事だと思うし、それぞれの事業に対する取り組みから良い刺激をもらえるので、NCL南相馬の皆とは引き続きコミュニケーションを取っていきたいです。

塚本 もっと市役所や地元の事業者さんとも関わっていききたいですね。並行して、IT企業の誘致もやっていきたいし、やることを一つに絞らずにいただく話をそれぞれやっていきたいです。

神 これを軸にしていきたいという事業があるのでそこを形にしていきたいですね。新しいメンバーも迎えて事業を軌道に乗せていきたいので、そのタイミングで僕も大人になれたらなと思ひます（笑）

一同 （うんうん）

水谷 店ができたので、そこをきちんと経営することと、当初からやりたかった福祉方面にも少しずつ関わってきたいです。あんまり欲張ってもできないので少しずつ頑張りたいですね。

立川 自分のやりたいことの中心は酒造りなので、そこをまずは極めていきたいです。なおかつ瓶の中を極めてたいのはもちろん、瓶の外側、「この地域で酒をつくる」、「こ

の地域の米を使う」ことの意味をより深く考えていきたいです。プライベートでは彼女も南相馬に拠点を置いてくれたので、前よりいっそう頑張りたいです（笑）

一同 （笑）

立川 あと先ほど言いそびれたんですが、NCL南相馬や小高ワーカーズベースがやってきた事業って、若者にとって本当にありがたいなと思ひています。他の移住者と話していて、正直来る前はこんなに面白い地域だとは思ってなかったんですね（笑）それぞれやりたいことに向かって走っている人が沢山いることは、刺激になるし、コミュニティとしてもすごく意義のあることだろうな感じています。

和田 最後に褒めていただいて嬉しいです（照）

一同 （笑）

和田 やっぱりチャレンジして自己実現していく人を増やしたいと思っている中で、外から来る人の受け皿になる場所は必要だなと思ひますので、そういうお言葉頂いて嬉しく思ひます。
堀田さん、何もしゃべってないですけど最後に何か一言いいたい事ありますか？（笑）

堀田 最後にそんな恐れ多いですが（笑）じゃあ僕も次の一年みたいところで一言話させていただきます。
そうですね…、この一年はコーディネーターとして、皆さんの自分の事業に向かう姿勢に感化されてきました。そんな尊敬できる方々を横で見させていただいた経験を生かして来年は自分の事業に邁進していきたいと思ひます。また他のメンバーの皆さんとも事業やプロジェクトでコラボができると嬉しいなと思ひますので、ぜひよろしくお願ひします。

和田 ありがとうございます。それではこのあたりで終わりにしたいなと思ひます。つたない進行にご協力いただきありがとうございます。水谷さん、高田さんは今年度で卒業となりますけれども、また引き続き同じ地域で活動する事業者として緩く関わりあっていければいいなと思ひます。またこれから新たにラボメンバーも増やしていきたいと思ひますので、皆様にもお力添えいただきながらこの地域に事業を増やしていければと思ひます。
本日はどうもありがとうございました！

一同 ありがとうございます。

市民交流イベント

2020年度は、よりNext Commons Lab 南相馬メンバーの活動を南相馬市民の皆様にご覧いただくため、各プロジェクトごとに「市民交流イベント」を開催いたしました。メンバーとの交流の機会や、各事業を市民の皆様にご覧いただく機会となり、ご参加いただいた皆様には好評を頂きました。本ページでは、それらのイベントの様子や参加いただいた皆様のコメントをご紹介します。

Event 01

ワタリンとの触れ合い会

【主宰】 一般社団法人
Horse Value
神 瑛 一 郎

小高パイオニアヴィレッジ駐車場内にある厩舎で、サラブレッド「ワタリン」を囲んでお茶会を開催し、エサやり体験などを通じて馬を身近に感じていただくことができました。



若い人が来てくれるのは嬉しいです。ワタリン（馬）にニンジンあげたら、それからうちの前通るときエサくれるんじゃないかと思ひてゆっくり歩くのよ（笑）



Event 02

集中力を香りでコントロールする仕事の効率UP術

【主宰】 aroma salon SUMIRE
水 谷 祐 子

「集中力」と「香り」の係性を講義で学んだ後、実際に自分の好きな香りのアロマで作ったアロマスプレーを使って、集中力アップの実践方法を体験いただきました。



NCLやそのメンバーのことはこのイベントで初めて知りました。香りについての講座や実際に役立つアロマが作れてよかったです。



Event 03

haccoba感謝祭！すしタコまきまきパーティー

【主宰】 haccoba
佐藤太亮・立川哲之

谷地魚店さんやタコタコアミーゴさんを迎え、ランチタイムに手巻き寿司やタコス、がにまき汁を振る舞い、普段 haccoba に来ない方々にも楽しんでいただきました。



現在小高に住む3800人うち800人ほどは新しく来た人達。新しく来た若い人と交流ができ、おいしい料理もいただいて楽しかったです。





Information



これまでの配布物はこちらで
データダウンロードいただけます
<https://owb.jp/service/nextcommonslib/>

発行元：南相馬市（担当：経済部商工労政課）
南相馬市地域おこし協力隊募集及び支援業務委託事業
受託者：株式会社小高ワークスペース

ネクストコモンズラボ
webサイト



[https://nextcommonslib.jp/
network/minamisoma/](https://nextcommonslib.jp/network/minamisoma/)


NCL南相馬
Facebook



[https://www.facebook.com/
nclminamisoma/](https://www.facebook.com/nclminamisoma/)


NCL南相馬
Instagram



ユーザーネーム：
ncl_minamisoma

編集・制作：Next Commons Lab南相馬
デザイン：西山里佳（marutt Inc.）
写真：鈴木穰蔵
発行日：2022年3月

【問い合わせ】
Next Commons Lab 南相馬事務局
〒979-2124 福島県南相馬市小高区本町1-87
小高バイオニアヴィレッジ
TEL：0244-26-4665

<https://nextcommonslib.jp/network/minamisoma/>



起業型地域おこし協力隊

Next Commons Lab 南相馬 2021年度
ネクストコモンズラボ

活動報告会

Next Commons Lab Minamisoma activity report meeting

5月28日(土)

野馬追通り銘醸館二番蔵

13:00 - 15:00

途中入退室可

福島県南相馬市原町区本町2-52

先着60名
(要申し込み)

南相馬市地域おこし協力隊活動事業の受託先である株式会社小高ワークスベースは、起業型地域おこし協力隊を募り、地域の課題や資源に焦点をあてたプロジェクトを推進しております。南相馬市民のみなさまのご支援・ご協力を賜り、Next Commons Lab 南相馬事業は6年目を迎えました。この度、事業についての報告会を開催することになりましたので、ご関心を持っていただいた方はぜひご参加いただけますと幸いです。

申し込み方法

インターネット

下記申し込みフォームより

必要事項記載の上送信ください。

<https://forms.gle/BmZ4Erh34WCqEoWb7>



電話

0244-26-4665

(株)小高ワークスベース(担当: 神尾)までご連絡ください。

営業時間: 月 - 金 (祝日除く) 10:00-18:00



神 瑛一郎
Yoichiro Jin
Horse Sharing



水谷 祐子
Yuko Mizutani
Mobile
Aromatherapy Salon



高田 江美子
Emiko Takada
Local Marketer



塚本 真也
Shinya Tsukamoto
Local System Engineer



佐藤 太亮
Taisuke Sato
haccoba -Craft Sake Brewery-



立川 哲之
Tetsuyuki Tachikawa
haccoba -Craft Sake Brewery-



堀田 一徳
Kazunori Hotta
Coordinator

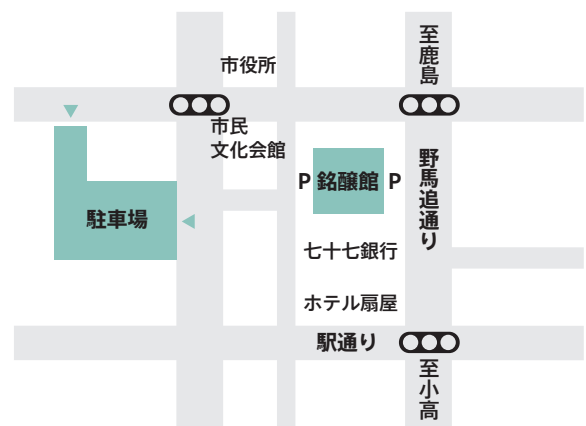
Next Commons Lab 南相馬に所属するメンバーの2021年度の活動を、 南相馬市民の皆様にご紹介するための活動報告会

参加対象 南相馬市民の皆様 (申込の状況次第で市外の方の申し込みをお断りする場合がございます)

スケジュール

12:30-13:00	受付
13:00-13:05	オープニング
13:05-13:10	NCL事業担当課 説明
13:10-13:15	NCL事業受託事業者のご挨拶
13:15-13:30	NCL 南相馬全体と事務局の活動報告
13:30-14:50	ラボメンバー活動報告
14:50-14:55	市長ご挨拶・ご講評
14:55-15:00	閉会の挨拶

会場へのアクセス



野馬追通り 銘醸館二番蔵 福島県南相馬市原町区本町2-52



お問い合わせ

株式会社小高ワークスペース (Next Commons Lab 南相馬 事務局)
contact@ncl-minamisoma.jp 0244-26-4665
<https://nextcommonsclub.jp/network/minamisoma/>

Facebook Instagram

